

5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

始



11
7
281

人倫訓義彙

四

商人部 八才子目

呉服や 無印を賣るは
 時をふらり呉服を織り
 の衣布は女よりて絹
 と織りつけぬみよえ
 七上りめをぬき呉服と
 りん 呉服や中立賣西洞
 内後者通ぬ江戸を
 橋筋の角小川通ぬ上
 丁 呉服や江戸は江を
 河上流石河大入江戸す



ようやくとあつたれは
 義助王の長下らむと
 けつろ馬王とてしり
 て痛切事代は味よき
 けんとてまじり
 しるけとあり
 人の言神の
 や系大坂をた伴舟
 池木酒あつたあり
 あり男と杜半渡り
 りあり



遊て依回あり
 解 和泉孔
 わがすよ
 の
 にも
 笑う
 老子
 研と
 子の
 りんて



ありぬ棒にたの三條
 を結つて三條と申
 候しとらん **瓶師** 味香
 や渡びや水も氷万成
 もことりらも通舟は板
 ありらねはとら合
 室よ入りてとら合
 を合はれはとら合
 うらぶしてとら合
 かり **味香** 味香
 かり **味香** 味香



希松と出に相味和
 能あつて人身の保を以
 びたつても離へらる
 もの **紙** 任國
 了也と名物ありあり
 弘也世よいのまごの御
 しくも多羅羅よま
 しくも急がめてハ作
 と刻て字とほりつま
 しくもありの記和
 えんくもあつてはらり



せんく日利のし新
 二家通にどの通所を
 三蔵抜き月小あり
 後公 後のすけは三す
 一分りの今お定るのめ
 ろんくのすまぬまのひで
 の徳の軍書ふんぐり
 寺町二条西大坂の坊筋
 簾捲一丁めよりあり大小の
 古銃とともくわくわくあふ
 又の深慮し地てつらむ



せんく日利のし新
 二家通にどの通所を
 三蔵抜き月小あり
 後公 後のすけは三す
 一分りの今お定るのめ
 ろんくのすまぬまのひで
 の徳の軍書ふんぐり
 寺町二条西大坂の坊筋
 簾捲一丁めよりあり大小の
 古銃とともくわくわくあふ
 又の深慮し地てつらむ



疾野大蛇を以ててい
 刀屋 衣あきとて日本
 此の糸は圓く打ひて
 乃徳指梅てらとてき
 西の寺所二条の南は流
 二条南と外町あり
 ぬきや 金後のお場
 いのり利徳と夜ぬき
 かまうて後をいぬき
 少しは款なり商人を
 せんぬきとて分りし



高の園果てぬき
 銅屋 糸は圓く打ひて
 も同おも高一切の金おけら
 れとておひなり湯にぬき
 糸あり 後や 糸はぬき
 糸はぬきとて分りし
 と又た板前がりのてておま
 糸はぬきとて分りし
 糸はぬきとて分りし
 糸はぬきとて分りし
 糸はぬきとて分りし



更ぬわりの律行ぬぬれ音
 園庭一切の作印を乞
 と来り作の死明を乞
 美湯道具竹蒲と切
 大八切木を乞
 作は庭 草履 笠 古履
 の敷いも菓子と包い入
 くらを乞
 庭石や 海山の石符石
 松井付る極の水竹や
 系万巻の巻鳥丸ぬぬ海抜



堀ぬわりの 下草や 土
 の一室を乞と高下池通
 新西果入北西二人のり
 の中れ茶の十あつて
 捲や 花やと野火を乞
 丹波赤杉のぬぬ
 抹茶も乞
 捲茶や 空法茶と捲茶
 高下ろふわりの 新や
 伊國とらふわりの
 法の新茶と高下茶



麵敷賣 餅作高き切と
 一袋切ふりこめ茶の合に
 ちひありくも水 麵敷の
 概食と貯して一袋の代
 中下切の茶と何とるも大
 松のあぐらもあぐらにわり
 又狭園町中茶販あよ坂
 金やわりの代は下
 焼豆腐作 市は西は合の
 場冬あれ入所可日千日の
 廻向石拾人のあやうらふに



麵敷賣



焼豆腐作

ちやどかおとこといふは
 酒肴し付合をり新蔵
 餅師紋の焼師餅より石
 焼菓うのよ一はさなり
 口上商人 万の合茶并茶
 餅のちひは餅房茶は合茶
 あれは茶をとりてとれなり
 又八餅と餅と蛇とを縁人形
 と出おまひりて人々あやえ
 んとてはちひあははははは
 あり

焼豆腐賣

ちやど

焼豆腐賣



11
7
280

いふはむしりてしるし
何れもよき事なり
いふはむしりてしるし
いふはむしりてしるし
いふはむしりてしるし
いふはむしりてしるし
いふはむしりてしるし



八百八

終

